



レバンガ北海道 × JAグループ北海道 『国消国産パートナー』契約締結会見 代表者挨拶

本日は、用務ご多忙の折にも関わらず、皆様にはご臨席を賜りましたことに、心より感謝を申し上げます。

報道もされている通り、新型コロナウイルスとの戦いが長期化し、各農畜産物の消費は依然として低迷しております。さらに、国際紛争や急激な円安の進行による飼料・肥料をはじめとした生産資材の高止まりが農業経営に与える影響は甚大であり、消費、生産の両面から農業を取り巻く環境はかつてないほどに厳しい状況となっています。

また、コロナ禍、国際紛争によって、世界の食料需給事情が一変しました。

輸出制限を行い、自国の食料を確保する各国の動きが活発化し、世界的な人口増加による食糧不足問題など食料争奪戦がすでに始まっています。我が国の食料を安定的にどう確保するのか。今こそ大いに食料安全保障の国民的議論が必要となっています。

このような中、JAグループでは国民が消費する食料はできるだけ国内で生産する「国消国産」という考え方を提唱していますが、今回、レバンガ北海道におかれましては、この考え方をご理解いただき、ご協力をいただけるということで、大変心強く、感謝を申し上げます。

国消国産は考え方として提唱しておりますが、言葉を覚えていただくだけではなく、買い物の際に食材を選ぶときには意識して北海道産、国産のものを選ぶなど、消費者の皆様の行動が変わることを期待するものであり、選手の皆様、パシスタスピリッツの皆様をはじめ、関係者の皆様に国消国産を率先して実践していただくことが、その第一歩となりますので、日本の未来のためにも期待しております。

特に酪農は生乳生産のさらなる抑制を決定し、生産現場で懸命に取り組んでいます。一方、牛乳・乳製品の需要が伸び悩んでいる実態もあり、特に年末年始に向けて、レバンガ北海道の皆様、消費者の皆様には一杯でも多くの牛乳を飲んでいただき、少しでも多くの乳製品を食べていただくことで、北海道の酪農を応援いただけますようお願い申し上げます。

これからはJAグループ北海道もより一層レバンガ北海道の試合を会場で応援すること、選手に栄養をつけてもらうため、引き続き、安全・安心でおいしい農畜産物を消費者の皆様にお届けすることを約束いたします。

最後になりますが、今回のパートナーシップがレバンガ北海道とJAグループ北海道の双方の成長・発展と地域の活性化に繋がること、ご祈念いたしまして挨拶に代えさせていただきます。

本日はありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。